

学科 学年	D 3	科目 分類	C 言語基礎演習 [C 基演] Basic Practice of C Language	演習 必修	前期 1 単位	学習教育 目標 B	担当	牛丸 真司 USHIMARU Shinji 大庭 勝久 OHBA Katsuhisa
概 要	プログラミングの基礎概念を理解し、初歩的なCプログラミング技術を習得する。 PCでの演習を中心とし、実践的な応用力を身に付ける。 授業ごとに、適切な量の演習課題を出し、課題の提出を課する。							
科目目標 (到達目標)	(1) ポインタの概念を理解して、ポインタを用いたデータ参照ができること。 (2) 関数の概念を理解して、ユーザー関数を作成しデータの引渡しができること。 (3) 構造体の概念を理解して、異なる型のデータを一つの集合体として取り扱うことができること。 (4) データ型および型変換について理解し、異なる型のデータを含んだ計算ができること。 (5) C言語の基礎的なプログラミングを習得し、数値演算関数を用いて、初歩的な数値計算(数値積分等)ができること。							
教科書 器材等	「入門ソフトウェアシリーズ1 C言語」河西 朝雄 著(ナツメ社)							
評価の基準と 方法	前期中間試験40%、前期期末試験40%、課題レポート20%として評価する。 60%以上を合格とする。							
関連科目	プログラミング入門							
授業計画								
第1回	ポインタ1 : ポインタと文字列、ポインタと一次元配列							
第2回	ポインタ2 : ポインタによる配列表現、ポインタと二次元配列、ポインタ配列							
第3回	関数1 : 関数とは、値による呼び出し、参照による呼び出し							
第4回	関数2 : 一次元配列を渡す、ポインタ配列を渡す、関数プロトタイプ							
第5回	構造体1 : 構造体とは、構造体配列							
第6回	構造体2 : 構造体の一括代入、構造体へのポインタ							
第7回	データ型1 : データ型、符号付き数と符号なし数、enum型							
第8回	前期中間試験							
第9回	データ型2 : 型変換とキャスト							
第10回	記憶クラス : 記憶クラス、通用範囲							
第11回	変数と初期化 : 静的変数、外部変数、初期化							
第12回	プリ・プロセッサ : プリ・プロセッサとは、単純なマクロ、引数付きマクロ							
第13回	マクロ : マクロと関数、数値演算関数							
第14回	ファイル処理 : ファイル処理関数、書式付きファイル入出力							
第15回	前期期末試験							
オフィス アワー	授業実施日の15:00~17:00、試験の前1週間は曜日を問わない。							
授業アンケート への対応	板書をした後、少し間をおいて説明するように心掛ける。							
備 考								